

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2007-291236(P2007-291236A)

【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-043

【出願番号】特願2006-120704(P2006-120704)

【国際特許分類】

C 08 G 59/40 (2006.01)

C 08 J 5/24 (2006.01)

【F I】

C 08 G 59/40

C 08 J 5/24 C F C

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月4日(2007.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

エポキシ樹脂(A)100重量部に対して、脂肪族ポリアミン、脂環族ポリアミン又は芳香族ポリアミンから選ばれるアミン系硬化剤(B)を25~50重量部、融点が150以上以上の有機酸ジヒドロジド化合物(C)を1~20重量部配合すると共に、ジアンジアミドを含まない纖維強化複合材料用工エポキシ樹脂組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成する本発明の纖維強化複合材料用工エポキシ樹脂組成物は、エポキシ樹脂(A)100重量部に対して、脂肪族ポリアミン、脂環族ポリアミン又は芳香族ポリアミンから選ばれるアミン系硬化剤(B)を25~50重量部、融点が150以上上の有機酸ジヒドロジド化合物(C)を1~20重量部配合すると共に、ジアンジアミドを含まないこととする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

アミン系硬化剤(B)は、脂肪族ポリアミン、脂環族ポリアミン又は芳香族ポリアミンから選ばれるものであり、好ましくは芳香族ポリアミンがよい。本発明において、アミン系硬化剤(B)には、ジアンジアミンは含まないものとする。芳香族ポリアミンとしては、ジアミノジフェニルスルホン、ジアミノジフェニルメタン、メタキシレンジアミン、メタフェニレンジアミン等が好ましく、とりわけジアミノジフェニルスルホンが硬化物の耐熱性を高める点から好ましい。